

政策・メディア21 シンポジウム

プログラム・午後の部

1999. 2. 25 (木)

慶應義塾大学三田キャンパス 北新館ホール

13:30 13:45	ご挨拶 - 相磯秀夫(慶應義塾大学)
13:45 14:15	基調講演「21世紀型経済と情報インフラ」 竹中 平蔵 (慶應義塾大学)
14:15 14:45	基調講演「インターネット社会の緊急課題」 村井 純 (慶應義塾大学)
14:45 15:00	休憩
15:00 17:30	パネルディスカッション 「インターネット社会における信頼構築へのシナリオ ～ 経済・技術・個人」 チェア：金子 郁容 (慶應義塾大学)
17:45 19:30	レセプション

政策・メディア21 シンポジウム

プログラム・午前の部

1999. 2. 25 (木)

慶應義塾大学三田キャンパス 大学院棟

<p>323 教室</p> <p>チェア 金子郁容 慶應義塾大学 政策・メディア研究科教授兼 総合政策学部教授</p>	<p>分科会 A 「個人」 ～個人の情報生活環境の信頼性～</p> <p>個人の社会生活の一部がコンピュータネットワークなどを用いて行われるようになった際に、安心して活動できるように確立されなければならない技術基盤や制度について検討する。消費者保護、与信、認証、プライバシーなどについて議論する。</p>
<p>324 教室</p> <p>チェア 田村次朗 慶應義塾大学法学部教授</p>	<p>分科会 B 「経済」 ～情報通信関連産業と日本経済～</p> <p>日本の経済に対する情報通信関連産業の影響、今後の対策について検討する。海外通信線敷設に関する国家戦略や、現在の暗号政策の問題、2000 年問題などについて議論する。</p>
<p>325B 教室</p> <p>チェア 武田圭史 慶應義塾大学 政策・メディア研究科</p>	<p>分科会 C 「インフラ」 ～社会基盤としての情報通信インフラの構築～</p> <p>社会基盤として信頼できる情報インフラを構築および維持するための戦略について検討する。特に信頼性のある情報インフラ維持のための産官学協調のありかた、国内インフラ形成における役割分担などについて議論する。</p>

政策・メディア21 シンポジウム

講演者・パネリスト紹介

1999. 2. 25 (木) 慶應義塾大学三田キャンパス

敬称略・50音順

伊藤 穰一 (いとう じょういち) - パネル

株式会社デジタルガレージ代表取締役社長 (jito@eccosys.com)

シカゴ大学中退後、クラブのDJ、ソフト会社やイベント会社の経営を経て、有限会社エコシスを設立。インターネット業界の先端をいく企業として注目される。翌年設立した(株)デジタルガレージは、米国大手検索エンジンのインフォシーク社と96年業務提携し、インフォシークウルトラの販売。また、95年にはArs Electronica'95審査員、Interactive Media Festival '95審査員、96年には、郵政省・電子決済研究会研究委員、インターネットワールドエキスポテクニカルマネージャー等多くの役割を担う。

現在、株式会社デジタルガレージ代表取締役社長、株式会社サンオーシステムソリューションズ会長、米国ECD社取締役副社長、PSI Net株式会社取締役、経済同友会 会員、京都造形芸術大学メディア美学研究センター客員研究員、マルチメディアスクール デジタルハリウッド アドバイザリースタッフ、郵政省 マルチメディア委員会 会員、郵政省 電子決済、電子現金とその利用環境整備に関する調査委員会会員、警察庁 情報セキュリティビジョン策定委員会 会員、警察庁 不正アクセス対策法政分科会 会員、Ars Electronica 審査委員などを務める。

金子 郁容 (かねこ いくよう) - パネルチェア

慶應義塾大学政策・メディア研究科教授兼総合政策学部教授 (kaneko@vcom.or.jp)

1948年 東京都生まれ。慶應義塾大学工学部卒業後渡米し、3年後にスタンフォード大学にてPh.D.(工学博士号)取得。ウィスコンシン大学経営工学科、計算機学科併任準教授をつとめるなど、アメリカ、ヨーロッパで12年間過ごし帰国。一橋大学商学部教授を経て1994年4月より現職。その間、エッセン大学(西ドイツ)客員教授、統計数理研究所客員教授、三菱総合研究所客員研究員などを歴任。1995年、阪神淡路大震災の復興支援に際し、インターネットと商用パソコンをつないだボランティア支援システム「インターネットVネット」を立ち上げる。さらにこのシステムを使った情報コミュニティづくり「VCOM」プロジェクトでは、地域コミュニティの情報化、障害者の社会参加のしくみづくりなど、ネットワーク・コミュニティの実験を実施している。1998年4月よりインターネット上に「障害者としごと...ジョブマッチング情報広場」を開設して、障害者と仕事をつなぐ情報提供の場作りをしている。

最近のテーマは情報論、ネットワーク論および意思決定論などを通して、ボランタリーな組織原理を探ること。

著書:「ネットワーク組織論」(岩波書店 共著)、「ボランティア もうひとつの情報社会」(岩波新書)、「ボランタリー経済の誕生」(実業の日本社 共著)ほか多数。

鈴木 寛 (すずき ひろし) - パネル

通商産業省 機械情報産業局 電子政策課 総括課長補佐 (shaa9458@miti.go.jp)

東京大学法学部卒。通産省入省。石油部、産業政策局、生活産業局、国土庁地方振興局、山口県工業振興課長等を歴任。

現在は、我が国情報政策全般についての企画・立案・調整を担当。

竹中 平蔵 (たけなか へいぞう) - 基調講演・パネル

慶應義塾大学総合政策学部教授・経済学博士(heizo@sfc.keio.ac.jp)

1951年生まれ。1973年一橋大学経済学部卒、日本開発銀行入行。77年同設備投資研究所。81年ハーバード大学、ペンシルバニア大学客員研究員、82年大蔵省財政金融研究所主任研究官。87年大阪大学経済学部助教授。89年ハーバード大学客員准教授、国際経済研究所(IIE)研究フェロー。90年慶應義塾大学総合政策学部助教授。96年より現職。

「研究開発と設備投資の経済学」東洋経済新報社 1984(サントリー学芸賞受賞)、
「対外不均衡のマクロ分析」東洋経済新報社 1987(エコノミスト賞受賞)、
「日本摩擦の経済学」日本経済新聞社 1991、「日本賢国論」電通 1993、
「日本経済の国際化と企業投資」日本評論社 1993、「民富論」講談社 1994、
「日本経済は生き残れるか」NHK出版 1995、「早い者が勝つ経済」PHP 1998 ほか多数。

田村 次朗 (たむら じろう) - パネル

慶應義塾大学法学部教授(tamra@sfc.keio.ac.jp)

1959年生まれ。ハーバード大学ロースクールで修士号取得、慶應義塾大学大学院法学研究科博士課程修了。

米国の企業公共政策研究所(AEI)、ブルッキングズ研究所研究員を務めながら、ジョージタウン大学客員教授、共和党ロス上院議員事務所の立法担当スタッフを兼任。97年より現職。

牧野 二郎 (まきの じろう) - パネル

弁護士 - インターネット弁護士協議会代表 (VR5J-MKN@asahi-net.or.jp)

1983年弁護士開業。1995年インターネット接続。

1996年オンライン法律相談開始、ILC組織。

村井 純 (むらい じゅん) - 基調講演・パネル

慶應義塾大学環境情報学部教授・工学博士(jun@wide.ad.jp)

1955年生まれ。84年慶應義塾大学工学部数理工学博士課程修了。87年博士号取得。84年東京工業大学総合情報処理センター助手、87年東京大学大型計算機センター助手。90年慶應義塾大学環境情報学部 助教授を経て 97年より現職。84年 JUNET を設立。88年 WIDE プロジェクトを設立し、今日までその代表として指導にあたる。

社団法人日本ネットワークインフォメーションセンター理事長、インターネットソサエティ (ISOC) 理事、

著書:「インターネット」(岩波新書)、「インターネットII」(岩波新書)

監訳:「インターネットシステムハンドブック」(インプレス)、「IPv6:次世代インターネットプロトコル」(プレントリスホール) ほか。